

講座 ジャンル	俳句	教員名	いけだ ゆたか 池田 饒
------------	----	-----	-----------------



俳句 17 音に

四季や心の移ろいを

詠んでみましょう

秋澄むや四方に拾いし句の欠片	冷奴小言の二三聞き流し	天空の御霊に捧ぐ大花火	どの兵も皆地球の子蓮の池	水澄んで息も清しく新走	若葉風紺から白へセーラー服	いさかいのわけも忘れて冷奴	また一軒更地となりて梅雨に入る	長き夜や句の行間を推敲す	肩の荷を瞬時にドーン大花火	一丁を分け合ふ膳の冷奴	不意に寄る無言の父に冷奴	時も過ぎ喧騒去りて蝉木立	海臨むユーミンうたうソーダ水	風鈴やひとりぽっちという自由	私の一句 (令和四年前期)
饒	清香	信子	壽子	幾子	さき子	郁子	恭子	和代	義行	眞理子	雅代	ますみ	利枝子	津喜枝	

